

ごあいさつ

— 日本社会福祉学会第42回大会を終えて —

今回のテーマとして「社会福祉における歴史性と地域性」を提起して、10月8、9、10の三日間にわたって同志社大学今出川校地で開催された第42回大会には多数の方々のご参加を得て、望外のご協力による成果を刻して終わることができました。大会事務局として深く感謝致します。本大会は一日開催日程を加えたり、記念講演、招待講演、名誉会員講演、大会テーマの外に課題報告シンポジウム、老人保健計画についてのシンポジウム、多くの分科会の設定など盛り沢山のスケジュールとなりご参加の方々の負担も少なくありませんでした。こうしたとりくみが今後の学会、大会の運営についての在り方に影響、あるいは積極的な要検討の事柄の提示であったかもしれません、忌憚のないご意見をいただきたいものです。

大会事務局として大会運営には万全を期しましたがなにかと不便をおかけしたこともあったと存じます。各様のこのたびの大会へのご協力にあらためて感謝し、43回大会（淑徳大学主催）の御成功を祈念致します。ありがとうございました。

第42回大会実行委員会委員長

小倉 襄二

(同志社大学文学部教授・社会学科社会福祉学専攻)



「社会福祉における歴史性と地域性」

日本社会福祉学会第42回全国大会

同志社大学で盛況裡に閉幕

はじめに

10月8、9、10日、同志社大学今出川キャンパスにて、日本社会福祉学会第42回全国大会が開催された。

同志社大学での全国大会開催は、1956年（昭和31年）以来、実に38年ぶりのことであった。お天気にも恵まれ、2泊3日ということもあり、また平安建都1200年を迎えた京都での開催ということもあってか、参加受付人数は、私共の予想を越えた1、150名にも達した。

院生、学部生合計190名が、準備日も含めて4日間に渡っての大会運営に協力してくれた。おかげで、大会プログラムもスムーズに進行し、無事に全国大会

を終了することができた。小倉実行委員長を先頭に邁進してきた関係者にとって重大な責任を果たすことができたことを喜んでいる次第である。

講演会&シンポジウムについて

第42回大会は、会期が3日間であったため、例年の窮屈なスケジュールに比べて、かなり余裕をもったいろいろなプログラムを組むことができ、多様化する社会福祉学および会員の多様なニーズに応えることができたのではないかと自負している。しかし、このことは逆にテーマの拡散を招き、焦点の絞りにくさを感じた会員も少なからずおられたのではない





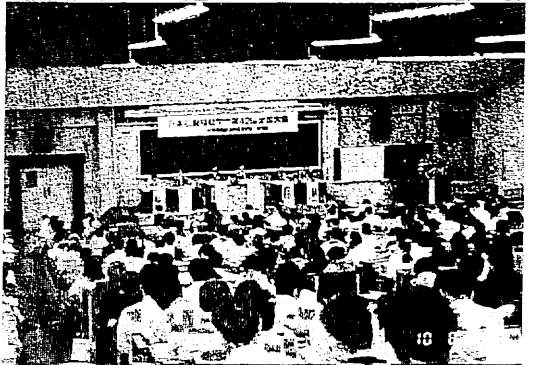
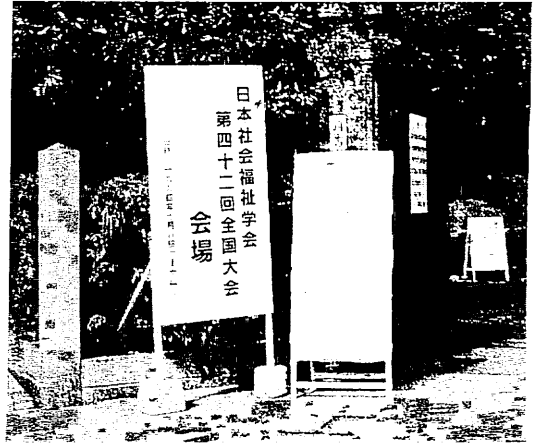
かと懸念している。

今回のメインテーマは広範囲な主題であったために、各種の講演やシンポジウムによって、種々な論題や議論もある程度この主題との関連で包括できたのではないかとも考える。ただ、シンポジウム等は事前の打合せが十分に行えず、焦点が絞り込めず、例年のように多くの議論すべき内容や課題が積み残されることになった。

なお、講演会やシンポジウム内容の一部は例年通り学会誌に掲載されるので、あえてご紹介を省略させていただきます。

自由研究発表について

自由研究発表（口頭発表とポスター発表）は2日目に23会場、3日目が24会場で行われた。発表数は合計264。特に、高齢者保健福祉、障害児者福祉、児童福祉の発表が多かった。また分科会への参加人数では高齢者保健福祉、児童福祉、理論等への分科会参加が多かった。OHP、ビデオ、スライド等を使用する発表者も多数にのぼった。このため、教室の確保、計時用のベル、OHP等の機器の





調達、そして学生運営協力員の動員等には苦勞した。なお、学会発表のあり方と条件整備が今後の課題ではないかと思われる。

今後の全国大会運営に向けて

今回の大会運営では、従来にない新しい試みを導入した。会員との相互連絡にパソコン通信の「電子メール」を利用できるようにしたが、期待に反して利用はあまりなかった。大会運営費を事前に確保するために、当日参加費との金額差をつけた参加費事前納入を例年以上に強く勧めさせていただいた。約650名の納入があり、これで運営費確保のメドが何とかつくことになった。また、誰でも参加できるようにと会期中に幼児対象の託児室を設けたが、利用者は1名であった。さらに、会員が会期中にいろいろな情報や動向に触れ、今後の研究教育活動に活用してもらうために、関連学会・研究会による交流会や紹介コーナーを設けたが、これは予想以上の反響があった。

しかし、予想できなかったハプニングも数々あり、参加者にご迷惑をおかけすることになってしまった。

大会プログラムは予告通り8月下旬には送付したものの、東北ブロックを中心にして未着のケースが多数出てきてしまった。学会本部作成送付用タックシールにて送付業務をし、送付封筒数の確認をして発送したので、何とも未着理由がわからなかった。この紙面を借りてお詫びするとともに、すでに郵便局には捜査依頼済であることを報告しておきたい。

また、キャンパス内の建物改修工事が私共の予想以上に早く始まってしまった。特に講演会・シンポジウム会場では、アクセス・スロープ、エレベーターが使用できなくなってしまったので、特に多数の車イス参加者にご不便をかけることになってしまった。また、多数の参加者の熱気と例年にない暑さによって、冷房が入れられない講演会・シンポジウム会場がうだるような高温になってしまった。さらに、古い建物である弘風館のエレベーターは狭くて利用できないという電動車イス使用の参加者から、指摘と苦情が出てきた。

専攻学生は全員1年生時に車イス介助を体験させているが、車イス介助の仕方が良くなかったとのご指摘もいただいた。介助をする学生にはボランティア保険をかけるべきであることのご指摘もいただいた。このようなことは、次回大会からの担当校にはぜひご検討いただきたい。

今回、これまでの担当校からいただいた大会準備・運営に関する資料を参考にさせていただき、「全国大会実施マニュアル」を作成した。このようなマニュアルを今後の担当校が逐次改善していくことで、より質の高い大会が開かれていくことになると思われる。

なお、追加印刷をした「報告要旨集」の残部が少々ありますので、希望者は同志社大学文学部社会福祉学専攻（黒木）までご連絡下さい。

日本社会福祉学会

第42回全国大会事務局一同

1994年度 日本社会福祉学会総会報告

1994年度総会は、日本社会福祉学会第42回全国大会が開催された京都の同志社大学今出川キャンパス明德館21番教室において、10月9日13時から14時30分まで開催されました。

はじめに仲村優一代表理事と同志社大学の小倉襄二全国大会運営委員長から概略次のような挨拶がありました。

仲村優一代表理事は開催校への謝辞に続いて「3日間の大会開催ははじめてであり、テーマも（社会福祉における歴史性と地域性）という福祉の基本的なテーマを設定し杉井六郎先生の講演をはじめ、私は日々充実感を感じているが、会員の人達はいかがであろうか。沢山ある諸学会との関連で日本社会福祉学会に親学会としての役割が期待されている。事務局も独立し組織としての学会のありようを検討する理事会の責任の重さを痛感している。日本学術会議の登録団体として政府へ責任ある提言をしていきたい。」と述べ、小倉襄二運営委員長は「建都1200年を迎える京都に、1000人を越える大会参加者を迎えて嬉しく思う。37年前に大会を同志社で開催したが、その時のテーマが（ボーダーラ

イン層と人口問題）であった。今回のシンポジウムはわれわれ同志社大学からの問いかけであり、いま何が見えているか、統合的なパラダイムを求めて可能性を追求していきたい。」と挨拶されました。

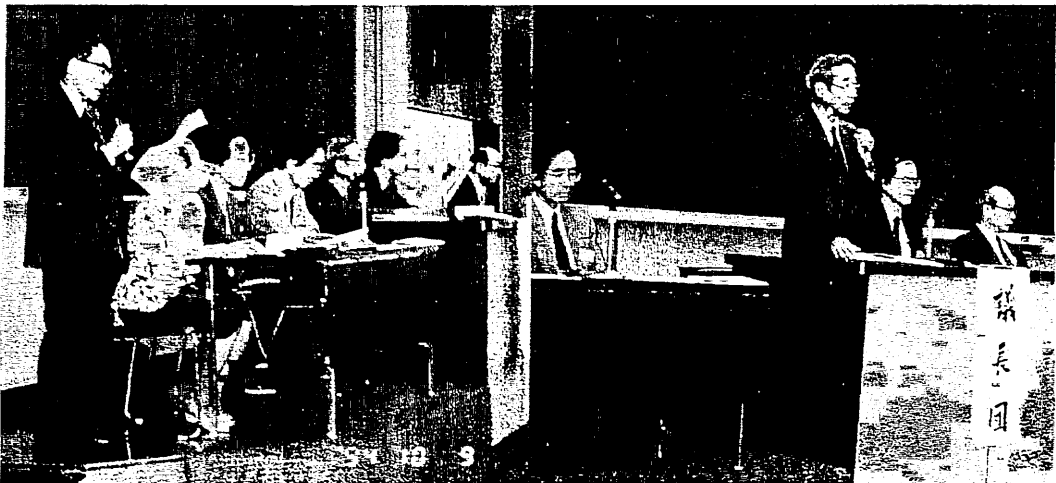
続いて議長団に中垣昌美会員と武田建会員を選出し、下記議案の審議が行われ、会費1000円（6000円→7000円）と入会金500円（500円→1000円）の値上げを含む全ての議事が承認されました。

なお、本総会には新しい名誉会員の推挙はありませんでしたが、会場に出席されていた浦辺史、島田啓一朗、重田信一、吉田久一各名誉の紹介がありました。

最後に来年度全国大会開催校である淑徳大学の長谷川匡俊学長より1995年11月11・12日の2日間に開催するので参加してほしいとの挨拶があり、閉会しました。

下記に概要を報告します。

- 第1号議案 1993年度事業報告
及び決算・監査報告
- 第2号議案 1994年度補正予算





第3号議案 会費及び入会金改定と日本社会福祉学会規約一部改正及び内規制定について

第4号議案 1995年度予算案
(その他報告事項)

1. 特別報告事項—学会事務局移転の件

学会ニュース6号で詳細に報告しましたが、それにもとづいて、学会事務局が全国社会福祉協議会(東京都千代田区霞が関3-3-2)から、業務委託契約を結んだ日本マーケティング教育センター(東京都新宿区四谷4-6-1-1208、03-3356-7824)に移転し、本年6月1日より業務を開始していること、また、そのために今まで以上に諸経費が必要となり、来年度から会費・入会金の値上げをしなくてはならないこと、などの報告がなされました。

2. 審議事項

第1号議案から第4号議案まで、会費値上げなどを含む後述の提案通り承認されました。

3. 報告事項

(1) 日本学術会議報告

日本学術会議の社会福祉・社会保障研究連絡委員会の第1回会合が去る11月16日に日本学術会議(地下鉄・乃木坂駅下車)において開催された。社会福祉・社会保障研究連絡委員会の委員は既に同志社大学で行われた総会の際に報告済であるが、仲村 優一(会員)、一番ヶ瀬康子(前会員)、太田 義弘(日本社会福祉学会)、大橋 謙策(日本社会福祉学会)、桑原 洋子(日本仏教社会福祉学会)、高橋 紘士(日本地域福祉学会)、田端 光美(社会事業史研究会)、降矢 憲一(日本年金学会)、山手 茂(日本社会福祉学会、日本社会学会)、吉沢 英子(日本児童学会)の10人である。

社会福祉・社会保障研究連絡委員会(以下「研連」と略)は学術会議第1部に所属している(学術会議は第7部まであり、研究連絡委員会は総数で180あり、委員総数は23

70人いる)。第1部には17の研究連絡委員会が設置されている。

研究連絡委員会に関する内規が定められており、研究連絡委員はI任期3年、J再選は可とするも3任期9年までの在任期間であり、その任命は原則として学術会議会員推薦人のうちから会員の申し出により学術会議会長が任命することになっている。

今回10人の「研連」委員は仲村 優一会員が「研連」に学術団体として登録し、会員推薦人を選出した人を中心に推薦し、会長より任命された。

「研連」には委員長及び幹事若干名を互選することになっているが、委員長には仲村優一氏、幹事に山手 茂氏、大橋 謙策氏が選出された。なお、「研連」の事務幹事として松崎 康子氏(淑徳大学)をお願いすることが了承された。

「研連」の業務としては、主にI「研連」に関する事項に関してシンポジウム等の研究啓発活動、J「研連」としての対外的提言活動、K国際協力、国際活動等がある。いままでも、日本社会福祉学会と共済でシンポジウム等を開催してきている。今期の「研連」として何を活動として取り組むかは次回以降「研連」会議で討議することになった。

(1994・11・16)

日本学術会議会員選挙の結果

1. 日本学術会議、社会福祉・社会保障研究連絡委員会会員候補者名簿

仲村優一(淑徳大学)

日本社会福祉学会、社会事業史研究会選出
庭田範秋(慶応大学名誉教授)

日本年金学会選出
長谷川匡俊(淑徳大学)

日本仏教社会福祉学会選出
三浦文夫(日本社会事業大学)

日本地域福祉学会選出

2. 学術会議会員選挙推薦人名簿

大橋謙策(日本社会事業大学)

日本社会福祉学会選出
窪田暁子(東洋大学)



日本社会福祉学会選出
桑原洋子（龍谷大学）

日本仏教社会福祉学会選出
高橋紘士（法政大学）

日本地域福祉学会選出
田端光美（日本女子大学）

社会事業史研究会選出
降矢憲一（日本大学）

日本年金学会選出
吉澤英子（大正大学）

日本児童学会選出

3. 推薦人会議が5月9日に行われ、仲村優一氏を会員候補者として推薦、7月に学術会議会員として決定した。

社会福祉・社会保障研究連絡委員会委員の選出

1. 社会福祉・社会保障研究連絡委員会（略称：研連）の世話人は仲村会員が兼務。

2. 研連委員10人の選出は、

(イ) 研連登録学会の推薦人を優先する。

但し、9年を越えることはできない。

(ロ) 社会学分野との関係を配慮して委員を選考。

(ハ) 学術会議の継続性を考慮する。

などを考え、会員が推薦し、日本学術会議が決定する。

3. 研連委員

一番ヶ瀬康子、山手茂、田端光美、桑原洋子、高橋紘士、吉澤英子、大橋謙策、太田義弘、降矢憲一、仲村優一

(2) 特別委員会「国際協力のあり方研究委員会」の報告

学会ニュース6号で報告の通り、「国際協力のあり方協力委員会」は昨年の総会での承認を経て、活動を進めていましたが本全国大会にむけて、「社会福祉における国際協力のあり方に関する研究・基礎研究篇」を作成・刊行しました。これは、会員全員にアンケート調査を行い、研究参加の意思表示のあった会員の、既に個人又はグループですすめている研究データを研究の第1段階としてまとめた成果物です。

大会参加の会員には1冊づつ配付しましたが、その他の会員にも配付の予定で印刷しています。ご希望の方は郵送料として郵便切手400円（80円×5枚）を学会事務局に送って下されば、折り返し送付致します。

また、研究委員会は2年目を迎えて、全国研究会と地方部会研究会（東北・関東・中部・関西・九州）が活動をそれぞれすすめています。

(3) 次期開催校の承認

①1995年度大会開催校 淑徳大学

(期日) 1995年11月11日～12日

②1996年度大会開催校 同朋大学

(参考)

日本地域福祉学会・1995年度大会

(期日) 1995年6月17～18日

(開催地) 北九州市（北九州市他）

社会事業史研究会・1995年度大会

(期日) 1995年5月14日

(開催地) 名古屋市（愛知県社会福祉会館）

日本基督教社会福祉学会・1995年度大会

(期日) 1995年6月2日～3日

(開催地) 神戸市（須栄人間福祉専門学校）

日本社会福祉実践理論学会・1995年度大会

(期日) 1995年6月9日～10日

(開催地) 愛知県（日本福祉大学）

日本年金学会・1994年度大会

(期日) 1994年10月14日～15日

(開催地) 東京都（生命保険協会）

日本介護福祉学会・1994年度大会

(期日) 1994年10月21日～22日

(開催地) 愛知県（愛知みずほ大学）

日本仏教社会福祉学会・1994年度大会

(期日) 1994年10月22日～23日

(開催地) 京都市（種智院大学）

日本医療社会福祉学会・1994年度大会

(期日) 1994年10月22日～23日

(開催地) 東京都（慶応大学附属病院）

社会政策学会・1994年度大会

(期日) 1994年11月5日～6日

(開催地) 京都市（佛教学大学）



1993年度日本社会福祉学会会計決算 第1号議案

1. 収支計算書

自 1993年1月1日 至 1993年12月31日

収入決算額 19,242,345 円

支出決算額 13,248,536 円

差引額 5,993,809 円 (次年度繰越金)

1) 収入の部 19,242,345 円

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
款	項				
1 会費収入	1 会費収入	10,710,000	11,162,500	452,500	
2 機関誌売上	1 機関誌売上	200,000	269,100	69,100	「社会福祉学」頒布
3 寄付金収入	1 寄付金収入	0	0	0	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	0	0	
5 助成金収入	1 助成金収入	0	0	0	
6 雑収入		21,720	28,741	7,021	銀行利息
	1 普通預金	19,228	19,230	2	
	2 名簿作成費積立金	967	967	0	
	3 選挙管理費積立金	359	359	0	
7 積立金取崩収入	1 積立金取崩収入	100,000	100,000	0	選挙管理積立金
8 繰越金収入	1 繰越金収入	7,682,004	7,682,004	0	
合 計		18,713,724	19,242,345	528,621	

(2) 支出の部 13,248,536 円

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
款	項				
1 事業費		7,329,550	8,020,553	691,003	
	1 大会費	1,000,000	1,000,000	0	上智大学
	2 機関誌刊行費	3,200,000	3,219,460	19,460	社会福祉34-1,2
	3 部会還元費	1,279,550	1,279,550	0	
	4 特別委員会費	500,000	999,100	499,100	国際協力のあり方
	5 学会通信刊行費	1,000,000	1,078,004	78,004	ニュース4,5号
	6 名簿作成費	200,000	234,531	34,531	日本学術会議選挙
	7 選挙管理費	150,000	209,908	59,908	日本学術会議関係
8 大会費補助充当費	0	0	0		
2 事務費		5,580,000	4,718,472	△ 861,528	
	1 会議費	250,000	200,265	△ 49,735	理事会・編集委員会
	2 消耗品費	80,000	17,911	△ 62,089	
	3 印刷費	650,000	436,715	△ 213,285	資料・封筒印刷費等
	4 通信費	1,000,000	927,425	△ 72,575	郵券料金等
	5 交通費	1,500,000	1,200,030	△ 299,970	理事・編集委員旅費
6 事務諸費	2,100,000	1,936,126	△ 163,874	事務費負担金・アルバイト雇用等	
3 積立金繰出	1 積立金繰出	500,000	509,511	9,511	※
4 予備費	1 予備費	5,304,174	0	△ 5,304,174	
合 計		18,713,724	13,248,536	△ 5,465,188	

※積立金繰出内訳-名簿作成費積立金 400,967円 選挙管理費積立金 100,359円 大会費補助充当金積立金 8,185円

2. 貸借対照表

1993年12月31日現在

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
普 通 預 金	7,485,505	未 払 金	2,892,683
郵 便 振 替 貯 金	1,562,987	前 受 金	162,000
特 定 預 金	1,239,893	積 立 金	1,239,893
名簿作成費積立金	414,107		
選挙管理費積立金	138,288		
大会費補助充当金積立金	687,498		
備 品	203,940	運 用 財 産 基 金	718,940
繰 延 資 産	515,000	繰 越 金	5,993,809
合 計	11,007,325	合 計	11,007,325

3. 財 産 目 録

1993年12月31日現在

摘 要		金 額	
内 記	金 額	金 額	金 額
	円		円
[資産の部]			
Ⅰ 流動資産			
1. 預 貯 金			
(1) 普通預金 住友銀行東京公務部 No.502045	7,484,420		
富士銀行虎の門支店 No.793560	1,085		7,485,505
(2) 郵便振替貯金 東京貯金事務センター (東京5-59882)	1,562,987		1,562,987
流動資産合計			9,048,492
Ⅱ 固定資産			
1. 備 品 (富士通OASYS30AX ワープロ)	203,940		203,940
2. 繰延資産 (コンピュータ会員管理システムソフト)	515,000		515,000
3. 特定預金			
(1) 住友銀行東京公務部普通預金 (名簿作成費積立金) No.21749	414,107		
(2) 住友銀行東京公務部普通預金 (選挙管理費積立金) No.502034	138,288		
(3) 住友銀行東京公務部普通預金 (大会費補助充当金積立金) No.502749	450,864		
(4) 住友銀行東京公務部定期預金 (大会費補助充当金積立金) No.3795	236,634		1,239,893
固定資産合計			1,958,833
資産合計			11,007,325
[負債の部]			
Ⅰ 流動負債			
1. 未払金 (1) 協和印刷等	2,892,683		2,892,683
2. 前受金 (1994年度以降会費)	162,000		162,000
流動負債合計			3,054,683
負債合計			3,054,683
差引正味資産合計			7,952,642

監 査 報 告 書

1. 監査事項

日本社会福祉学会1993年度実施事業並びに会計決算について

2. 結果報告

監査の結果、事業は適正に実施され、また会計決算については、収支計算書、貸借対照表及び財産目録と諸帳簿、証憑書類を対照精査し、正確に処理されていることを認めます。

1994年2月1日

日本社会福祉学会

監事 小松 源助印

監事 佐藤 進印



1994年度日本社会福祉学会会計補正予算案 第2号議案

自 1994年1月1日 至 1994年12月31日

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目		補正予算額	予 算 額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 会費収入	1 会費収入	11,475,000	10,965,000	510,000	2250人×0.85×6000円
2 機関誌売上	1 機関誌売上	250,000	200,000	50,000	社会福祉学80冊×3200円
3 寄付金収入	1 寄付金収入	0	0	0	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	400,000	△ 400,000	文部省科研費
5 助成金収入	1 助成金収入	1,500,000	0	1,500,000	安田火災
6 雑収入		30,000	30,000	0	銀行利息
	1 普通預金	25,000	25,000	0	
	2 名簿作成費積立金	1,500	1,500	0	
	3 選挙管理費積立金	1,000	1,000	0	
	4 大会費補助積立金	2,500	2,500	0	
7 積立金取崩収入	1 積立金取崩収入	0	0	0	
8 繰越金収入	1 繰越金収入	5,993,809	5,300,000	693,809	
合 計		19,248,809	16,895,000	2,353,809	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目		補正予算額	予 算 額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 事業費		9,260,000	7,320,000	1,940,000	
	1 大会費	1,500,000	1,000,000	500,000	同志社大学
	2 機関誌刊行費	3,400,000	3,200,000	200,000	社会福祉学35-1,-2
	3 部会還元費	1,140,000	1,100,000	40,000	会費の10%
	4 特別委員会費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	国際協力のあり方
	5 学会通信刊行費	1,200,000	1,000,000	200,000	ニュース6,7号
	6 名簿作成費	0	0	0	
	7 選挙管理費	20,000	20,000	0	日本学術会議関係
	8 大会費補助充当費	0	0	0	
2 事務費		6,300,000	5,580,000	720,000	
	1 会議費	250,000	250,000	0	理事会・編集委員会
	2 消耗品費	80,000	80,000	0	
	3 印刷費	650,000	650,000	0	資料・封筒印刷費等
	4 通信費	1,200,000	1,000,000	200,000	郵送料金等
	5 交通費	1,500,000	1,500,000	0	理事・編集委員旅費
	6 事務諸費	2,620,000	2,100,000	520,000	事務費関係費
3 積立金繰出	1 積立金繰出	500,000	500,000	0	名簿作成40万 選挙管理10万
4 予備費	1 予備費	3,188,809	3,495,000	△ 306,191	※
合 計		19,248,809	16,895,000	2,353,809	

※1994年度未積立金内訳(予定) - 名簿作成費積立金 815,000円 選挙管理費積立金 240,000円 大会費補助充当金積立金664,000円

日本社会福祉学会規約一部改正・内規制定について 第3号議案

I 会費及び入会金改定について 新 入会金1000円 会費7000円 旧 入会金500円 会費6000円

J 本学会事務所移転に伴い、本学会規約第2条を以下の通り改正する。

新 (事務所) 本会の事務所は、東京都新宿区四谷4-6-1 四ツ谷サンハイツ1208号室内に置く。

旧 (事務所) 本会の事務所は、東京都千代田区霞ヶ関3-3-2新霞ヶ関ビル全国社会福祉協議会に置く。



1995年度日本社会福祉学会会計予算案 第4号議案

自 1995年1月1日 至 1995年12月31日

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	比 較 増 減 (△)	摘 要
款	項				
1	会費収入	14,430,000	11,475,000	2,955,000	会費 2400人×0.85×700円、150人×1000円
2	機関誌売上	250,000	250,000	0	社会福祉学80冊×3200円
3	寄付金収入	0	0	0	
4	補助金収入	400,000	0	400,000	文部省科研費
5	助成金収入	1,500,000	1,500,000	0	安田火災記念財団
6	雑収入	30,000	30,000	0	銀行利息
	1 普通預金	25,000	25,000	0	
	2 名簿作成費積立金	1,500	1,500	0	
	3 選挙管理費積立金	1,000	1,000	0	
	4 大会費補助積立金	2,500	2,500	0	
7	積立金取崩収入	1,050,000	0	1,050,000	名簿作成81万 選挙管理24万
8	繰越金収入	3,100,000	5,993,809	△ 2,893,809	
合 計		20,760,000	19,248,809	1,511,191	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (△)	摘 要
款	項				
1	事業費	10,840,000	9,260,000	1,580,000	
	1 大会費	1,500,000	1,500,000	0	淑徳大学
	2 機関誌刊行費	3,500,000	3,400,000	100,000	社会福祉学36-1,2
	3 部会還元費	1,220,000	1,140,000	80,000	会費10%
	4 特別委員会費	2,000,000	2,000,000	0	国際協力のあり方に関する研究
	5 学会通信刊行費	1,300,000	1,200,000	100,000	学会ニュース
	6 名簿作成費	1,300,000	0	1,300,000	理事会選挙
	7 選挙管理費	20,000	20,000	0	理事会選挙
	8 大会費補助充当費	0	0	0	
2	事務費	7,770,000	6,300,000	1,470,000	
	1 会議費	250,000	250,000	0	理事会・編集委員会等
	2 理事会運営費	2,600,000	1,500,000	1,100,000	理事・編集委員旅費・活動費等
	3 消耗品費	150,000	80,000	70,000	印刷用紙事務用品等
	4 印刷費	850,000	650,000	200,000	資料・封筒印刷費等
	5 通信費	1,300,000	1,200,000	100,000	郵券料会等
	6 事務諸費	2,620,000	2,620,000	0	事務所賃貸料金等
3	積立金繰出	500,000	500,000	0	名簿作成50万
4	予備費	1,650,000	3,188,809	△ 1,538,809	
合 計		20,760,000	19,248,809	1,511,191	

※1995年度未積立金内訳(予定) 一名簿作成費積立金 500,000円 選挙管理費積立金 0円 大会費補助充当金積立金 664,000円



入会希望者の審査結果

第3回理事会及び、大会会期中に開かれた第4回理事会で入会申込み者の審査が行われ下記の208名の入会が決定しました。

日本社会福祉学会 入会者

- | | | |
|----|--------|---------------------|
| 1 | 金子 秀子 | 横浜総合リハビリテーションセンター |
| 2 | 鈴木 庸裕 | 福島大学 |
| 3 | 武田 康晴 | 障害者自立問題研究所 |
| 4 | 嶋 澄 | 武蔵大学 |
| 5 | 鹿内 佐和子 | 上智大学 大学院 |
| 6 | 福井 幸子 | 大分医科大学 |
| 7 | 渡辺 靖志 | 山口あかり園 |
| 8 | 藤原 久礼 | 北九州保育福祉専門学校 |
| 9 | 谷川 和子 | 下関看護専門学校 |
| 10 | 濱岡 広子 | 山口大学 医療短期大学部 |
| 11 | 青木 直子 | 宇部短期大学 |
| 12 | 杉永 孝子 | 宇部短期大学 |
| 13 | 松井 圭三 | 広島福祉専門学校 |
| 14 | 有賀 朋子 | 連手空間設計 |
| 15 | 渡辺 明広 | 聖十字福祉専門学校 |
| 16 | 田中 晃 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 17 | 引馬 知子 | 日本女子大学 |
| 18 | 栗田 喜勝 | 岡山女子短期大学 |
| 19 | 山口 三重子 | 佛教大学 大学院 |
| 20 | 人見 裕江 | 佛教大学 大学院 |
| 21 | 穎原 浩司 | 佛教大学 大学院 |
| 22 | 土屋 健弘 | 同志社大学 大学院 |
| 23 | 池本 美和子 | 佛教大学 大学院 |
| 24 | 朴 明喜 | 佛教大学 大学院 |
| 25 | 石野 美也子 | 佛教大学 大学院 |
| 26 | 中村 陽子 | 佛教大学 大学院 |
| 27 | 駒井 登美子 | 佛教大学 大学院 |
| 28 | 川元 克秀 | 仙台市健康福祉事業団 |
| 29 | 小林 史子 | 仙台市健康福祉事業団 |
| 30 | 米田 宏樹 | 筑波大学 大学院 |
| 31 | 北村 育子 | コロンビア大学社会福祉大学院 |
| 32 | 平松 和代 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 33 | 仁平 一夫 | カルフォルニア大学 |
| 34 | 鈴木 とも子 | 渋谷区医師会難病相談室 |
| 35 | 金永 安弘 | 国立公衆衛生院 |

- | | | |
|----|----------|--------------------|
| 36 | 佐藤 秀紀 | 北海道医療大学 |
| 37 | 柵木 靖子 | 和歌山信愛女子短期大学 |
| 38 | 橋本 祥恵 | 岡山県立大学短期大学部 |
| 39 | 西川 淑子 | 龍谷大学 |
| 40 | 新井 国広 | 大阪府立大手前整肢学園 |
| 41 | 名賀 亨 | 大阪ボランティア協会 |
| 42 | 川井田 正志 | 浪速工業高等学校 |
| 43 | 岡田 節子 | 東京都心身障害者福祉センター |
| 44 | 今村 理一 | 上総喜望の郷 |
| 45 | 香取 達子 | 千葉県社会福祉協議会 |
| 46 | 高田 恵美 | 千葉県社会福祉協議会 |
| 47 | 井上 洋子 | 東京都府中保健所 |
| 48 | 相澤 和美 | 東京都多摩総合精神保健センター |
| 49 | 稲葉 佳代子 | 神奈川県立栄養短期大学 |
| 50 | 和気 三男 | 神奈川県立栄養短期大学 |
| 51 | 渡辺 利子 | 共栄学園短期大学 |
| 52 | 石打 トモ子 | |
| 53 | 工藤 隆治 | 淑徳大学大学院 |
| 54 | 田辺 毅彦 | PL学園女子短期大学 |
| 55 | 佐藤 貞良 | 大阪府社会福祉協議会 |
| 56 | 森本 恵美子 | 大阪国際女子短期大学 |
| 57 | 宮地 崇夫 | 岡崎市医師会 難病相談室 |
| 58 | 杉山 志乃 | 岡崎市医師会 難病相談室 |
| 59 | 鹿島 洋介 | 岡崎市医師会 難病相談室 |
| 60 | 関谷 由美 | 横浜市北部地域療育センター |
| 61 | 小川 淳 | 横浜市北部地域療育センター |
| 62 | 西山 美穂 | 上智大学大学院 |
| 63 | 古賀 宣文 | 大宮共立病院 |
| 64 | 西村 和正 | 岡山県立岡山女子高等学校 |
| 65 | 中西 直和 | 京都大学 社会教育研究室 |
| 66 | 田島 治 | 杏林大学 医学部 |
| 67 | 五島 真理為 | HIVと人権情報センター |
| 68 | 林 裕信 | 練馬区立心身障害者福祉センター |
| 69 | 衣笠 一茂 | 同志社大学 大学院 |
| 70 | 山崎 イチ子 | 愛知福祉学院 |
| 71 | グリーンW 律子 | シカゴ大学 |
| 72 | 川松 亮 | 東京都福祉局 |
| 73 | 堀口 久五郎 | 東京都社会福祉総合センター |
| 74 | 上見 幸司 | 常磐大学 |
| 75 | 崔 京翊 | 聖十字福祉専門学校 |
| 76 | 伊藤 義昭 | (財)川崎ボランティアセンター |
| 77 | 早川 俊一 | 川崎市リハビリテーション医療センター |

- | | | | | | |
|-----|--------|-------------------|-----|--------|--------------------|
| 78 | 小林 哲郎 | (財)豊田地域医療センター | 120 | 土井 直子 | 淑徳大学 大学院 |
| 79 | 千賀 悠子 | 日本総合教育研究所 | 121 | 安部 能成 | 千葉県医療技術大学 |
| 80 | 中村 努 | 日本医師会 | 122 | 高谷 よね子 | 龍谷大学 大学院 |
| 81 | 中村 雅子 | ミナソコ会館大塚地域サービス研究所 | 123 | 岡 茂 | 京都教育大学 |
| 82 | 鈴木 克美 | 愛知県医師会 難病相談室 | 124 | 高間 満 | 神戸市垂水福祉事務所 |
| 83 | 和田 光一 | 東京都補装具研究所 | 125 | 福原 啓子 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 84 | 大谷 リツ子 | 日本ルーテル神学大学文学部 | 126 | 藤木 征矣 | 兵庫県社会福祉研修所 |
| 85 | 大原 美知子 | 東京都立松沢病院 | 127 | 石戸谷 瑩一 | 帝京平成短期大学 |
| 86 | 奥平 俊子 | 龍谷大学 | 128 | 櫛田 匠 | 特別養護老人ホームはごろも苑 |
| 87 | 山中 裕剛 | 横浜市社会福祉協議会 | 129 | 木村 敦 | 同志社大学 大学院 |
| 88 | 大藪 元康 | 日本福祉大学 大学院 | 130 | 辻 義人 | 東北福祉大学 |
| 89 | 山口 桂子 | 社会福祉法人ひむれ乳児保育所 | 131 | 中田 知生 | 北星学園大学 |
| 90 | 一戸 泰子 | 弘前ホスピタリティアカデミー | 132 | 峯 俊彦 | 北海道療育園 |
| 91 | 市江 和子 | 日本福祉大学 大学院 | 133 | 佐藤 清六 | 道都大学 |
| 92 | 丹羽 啓子 | 日本福祉大学 大学院 | 134 | 大居 健二 | 道都大学 |
| 93 | 坂本 真理子 | 日本福祉大学 大学院 | 135 | 志村 健一 | 道都大学 |
| 94 | 山口 みほ | 日本福祉大学 大学院 | 136 | 竹下 貴幸 | 東北福祉大学大学院 |
| 95 | 鹿島 直子 | 東北福祉大学 大学院 | 137 | 高橋 信子 | 福島県立医科大学付属病院 |
| 96 | 笠原 幸子 | 大阪市立大学 大学院 | 138 | 高橋 亮 | 社会福祉研究センター |
| 97 | 松平 千佳 | 北九州保育福祉専門学校 | 139 | 松崎 有一 | 誠心会 やしおみ荘 |
| 98 | 柴田 有加里 | 大阪市立大学 大学院 | 140 | 山岡 テイ | 情報教育研究所 |
| 99 | 冨田 昌吾 | 佛教大学 大学院 | 141 | 清水 正美 | 帝京平成短期大学 |
| 100 | 齋藤 薫 | 御茶の水女子大学 大学院 | 142 | 原 史子 | 立教大学 大学院 |
| 101 | 寺本 尚美 | 上智大学 大学院 | 143 | 蒲生 俊宏 | 日本社会事業大学 |
| 102 | 工藤 正 | 障害者職業総合センター | 144 | 中島 修 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 103 | 石川 久美子 | サンシャイン社会福祉専門学校 | 145 | 吉田 雅憲 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 104 | 十重田 一美 | 横浜市戸塚福祉事務所 | 146 | 石川 瞭子 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 105 | 広瀬 志芽子 | 中京大学 大学院 | 147 | 巖 基郁 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 106 | 石黒 暢 | 同志社大学 大学院 | 148 | 宮脇 文恵 | 日本社会事業大学 大学院 |
| 107 | 前田 優二 | 特別養護老人ホーム 清鈴園 | 149 | 小野 敏明 | 日本社会事業大学 |
| 108 | 篁 秀麿 | 富山県立 新生園 | 150 | 沖 壽子 | 東京都立豊島看護専門学校 |
| 109 | 廣渡 修 | 国士館大学 福祉専門学校 | 151 | 結城 康博 | 北区立障害者福祉センター |
| 110 | 山本 圭介 | 山口女子大学 | 152 | 小林 紀子 | 日本女子大学 大学院 |
| 111 | 阿 純一郎 | 淑徳大学 大学院 | 153 | 岡上 和雄 | 全家連保険福祉研究所 |
| 112 | 橋本 美枝子 | 淑徳大学 大学院 | 154 | 大本 和子 | 東海大学病院 |
| 113 | 野田 隆生 | 淑徳大学 大学院 | 155 | 本田 秀夫 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 114 | 内野 晴美 | 淑徳大学 大学院 | 156 | 鮫島 奈緒美 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 115 | 大磯 はつみ | 淑徳大学 大学院 | 157 | 村山 あおい | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 116 | 相川 章子 | 淑徳大学 大学院 | 158 | 鈴木 恵美 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 117 | 大江 朋子 | 淑徳大学 大学院 | 159 | 小田 芳幸 | 横浜市総合リハビリテーションセンター |
| 118 | 柳川 道代 | 淑徳大学 大学院 | 160 | 宮島 直丈 | 聖ヶ岡教育福祉専門学校 |
| 119 | 早坂 聡久 | 淑徳大学 大学院 | 161 | 小島 珠実 | 川崎市障害者厚生相談所 |



- | | | | | | |
|-----|---------|----------------|-----|--------|------------------|
| 162 | 山口 光治 | 長野社会福祉専門学校 | 186 | 神里 博武 | 沖縄キリスト教短期大学 |
| 163 | 篠田 浩 | 大垣市福祉事務所 | 187 | 奥畑 潔 | 龍谷大学 大学院 |
| 164 | 志津 恵子 | 同朋大学社会福祉学部 | 188 | 門永 美紀 | 神奈川県立栄養短期大学 |
| 165 | 森崎 康宣 | AJU自立の家 | 189 | 青木 紀 | 北海道大学教育学部 |
| 166 | 水谷 俊夫 | 名古屋福祉専門学校 | 190 | 小畑 文也 | 筑波大学心身障害者系 |
| 167 | 伊藤 篤 | 日本福祉大学 | 191 | 輪倉 一広 | 九州福祉衛生専門学校 |
| 168 | 岡元 光子 | | 192 | 吉田 恭子 | 上智大学 大学院 |
| 169 | 野村 武夫 | 滋賀文化短期大学 | 193 | 松本 祥子 | 東京女子大学 大学院 |
| 170 | 松田 美智子 | 華頂短期大学 | 194 | 山口 幸照 | 日本社会事業大学 |
| 171 | 野村 修 | 同志社大学 大学院 | 195 | 江口 信枝 | 立正大学 大学院 |
| 172 | 鶴野 隆浩 | 同志社大学 大学院 | 196 | 吉田 行 | 淑徳短期大学 |
| 173 | 畠中 義久 | 愛徳姉妹会養護施設聖家族の家 | 197 | 井上 浩 | 上智大学 大学院 |
| 174 | 鎮目 真人 | 大阪府立大学 大学院 | 198 | 田原 園子 | 立正大学 大学院 |
| 175 | 清水 弥生 | 大阪府立大学 大学院 | 199 | 津止 正敏 | 京都市社会福祉協議会 |
| 176 | 杉井 潤子 | 大阪市立大学 大学院 | 200 | 鶴沼 憲晴 | 龍谷大学 大学院 |
| 177 | 古川 隆司 | 関西社会福祉専門学校 | 201 | 岡田 直人 | 大阪市立大学 大学院 |
| 178 | 佐々木 勝一 | ヨハネ会 救護施設ヨハネ寮 | 202 | 岩永 憲一 | 高齢者支援センターコスモピア熊本 |
| 179 | 香川 幸二郎 | 岡山県立大学 | 203 | 坂野 達郎 | 日本社会事業大学 |
| 180 | 草平 武志 | 山口県立山口女子大学 | 204 | 渥美 雅保 | 創価大学 |
| 181 | 田中 禮子 | 四国学院短期大学 | 205 | 原本 昭夫 | 鹿児島経済大学 |
| 182 | 花野 英城 | 花野外科医院 | 206 | 太田 秀男 | 九州福祉衛生専門学校 |
| 183 | 進藤 啓子 | 西九州大学 | 207 | 黒沢 エミ子 | 京都保育福祉専門学院 |
| 184 | 大川 絹代 | 西九州大学 | 208 | 岡本 房子 | 京都保育福祉専門学院 |
| 185 | 戸口田 三千尋 | 鹿児島経済大学 | | | |

会員の異動及び現況

	A (1994年9月26日現在)	%	B (1993年9月1日現在)	%	増減 (A - B)
会 員 総 数	2 2 2 3 名	100.0%	2 0 8 0 名	100.0%	1 4 3 名
北 海 道 部 会	1 0 6 名	4.8%	9 2 名	4.4%	1 4 名
東 北 部 会	1 2 7 名	5.7%	1 1 6 名	5.6%	1 1 名
関 東 部 会	8 8 4 名	39.8%	8 3 1 名	39.9%	5 3 名
中 部 部 会	2 4 5 名	11.0%	2 3 0 名	11.1%	1 5 名
関 西 部 会	5 0 3 名	22.6%	4 8 3 名	23.2%	2 0 名
中・四 国 部 会	1 8 4 名	8.2%	1 7 0 名	8.2%	1 4 名
九 州 部 会	1 6 5 名	7.5%	1 5 1 名	7.3%	1 4 名
その他 (海外居住者等)	9 名	0.4%	7 名	0.3%	2 名

経過報告及び会員数の現況

事業報告（前年大会後～現在）

- ・ 1993年 9月 4日 日本社会福祉学会第41回大会（～5日）（於：上智大学）
- ・ 1993年 9月 4日 1993年度日本社会福祉学会総会（於：上智大学）
- ・ 1993年 9月 6日 1993年度第2回編集委員会の開催
- ・ 1993年 9月10日 日本学術会議第16期会員の選出に係る学術研究団体の登録申請結果の通知
- ・ 1993年 〃 日本学術会議関連研究連絡委員会に係る推薦人の数の回答
- ・ 1993年 9月27日 「社会福祉における国際協力に関するアンケート」結果をアンケート回答者に送付
- ・ 1993年10月 7日 日本学術会議会員候補予定者選挙に実施（～21日）
- ・ 1993年10月20日 「日本社会福祉学会ニュース5号」の発行
- ・ 1993年10月22日 第2回選挙管理委員会の開催（会員候補予定者選挙開票）
- ・ 1993年11月 4日 日本学術会議会員候補者選挙の実施（～19日）
- ・ 1993年11月10日 日本社会福祉学会特別委員会打合せの開催
- ・ 1993年11月22日 第3回選挙管理委員会の開催（会員候補者選挙開票）
- ・ 1993年11月25日 「社会福祉における国際協力のあり方研究委員会」発足に伴う会員の研究データの提出依頼
- ・ 1993年12月 7日 日本学術会議会員候補者推薦人選挙の実施（～22日）
- ・ 1993年12月20日 「社会福祉学第34巻2号」の発行
- ・ 1993年12月22日 「社会福祉における国際協力のあり方」全国研究委員会の開催
- ・ 1993年12月24日 日本学術会議、平成6年度における学術研究集会等開催予定調査回答
- ・ 1994年 1月 7日 第4回選挙管理委員会の開催（推薦人選挙開票）
- ・ 1994年 1月 7日 「社会福祉における国際協力のあり方に関する研究」研究助成申請（安田火災記念財団）
- ・ 1994年 1月 8日 1994年度第1回理事会運営委員会の開催
- ・ 1994年 1月14日 日本学術会議第16期会員候補者届出
- ・ 1994年 2月15日 日本学術会議第16期会員推薦人及び推薦人予備者届出
- ・ 1994年 2月18日 1993年度日本社会福祉学会監事会の開催
- ・ 1994年 3月 7日 1994年度第1回編集委員会の開催
- ・ 1994年 〃 第1回日本社会福祉学会理事会の開催
- ・ 1994年 3月15日 日本社会福祉学会第41回大会開催助成金の交付
- ・ 1994年 4月 6日 1994年度会費及び未収年度会費の請求
- ・ 1994年 4月14日 第2回日本社会福祉学会理事会を文書審議により行い、日本社会福祉学会事務局移転を承認
- ・ 1994年 5月 9日 日本学術会議会員選挙推薦人会議を開催
- ・ 1994年 5月24日 日本社会福祉学会事務局移転に伴う業務委託契約を日本マーケティング教育センターと締結
- ・ 1994年 5月25日 「社会福祉学会ニュース6号」の発行
- ・ 1994年 6月15日 「社会福祉学第35巻1号」の発行
- ・ 1994年 7月19日 第3回日本社会福祉学会理事会を文書審議により行い、78名の入会希望者が承認される
- ・ 1994年 7月25日 1994年度会費及び未収年度会費の請求
- ・ 1994年 8月10日 第2回日本社会福祉学会理事会運営委員会の開催
- ・ 1994年 9月19日 第3回日本社会福祉学会理事会運営委員会の開催
- ・ 1994年10月 8日 日本社会福祉学会第42回大会（～10日）（於：同志社大学）
- ・ 1994年10月 9日 1994年度日本社会福祉学会総会（於：同志社大学）

学会ニュース・第7号 編集後記

- 同志社大学で行われた第42回大会はお蔭様で成功裡のうちに終わることができました。これも一重に大会委員長を引き受けて下さった同志社大学の小倉先生を始め、会員の皆様のご尽力と同志社大学の関係者のご協力があったからです。紙面をお借りして改めて厚くお礼申し上げます。
- 大会参加者が予定の1200名を越えたために、大会報告集が足りなくなり、一部参加者にご迷惑をお掛けしました。その点も改めてお詫び申し上げます。
- 大会は大成功で、素晴らしかったという言葉を会員の方々から事務局へ沢山戴きました。名誉会員の方々からもご丁寧にお手紙まで頂きました。ありがとうございました。
- 今回の大会から幾つかの新しい試みを取り入れました。学会の研究水準を上げるためにも会員資格がなければ学会発表できないこと、報告書にきちんと報告要旨を掲載しない人には発表させないことなど今後も踏襲していくことが理事会で決定されています。今後それらの課題について明文化し、会員の周知徹底を図りたいと考えています。
- ところで、学会事務局ははまだ移転後の事務体制が十分整わずご迷惑をお掛けして

いるかと思いますが、ここに来て漸く体制が整いつつあります。しかし、いまだ試行錯誤を繰り返していますので、何かと至らない点があるかと思いますがお許し下さい。この11月から事務局担当者として春山陽子氏が赴任しました。日本マーケティング教育センターの岡井哲士氏と共同して現在事務局を担当していますので何卒よろしくお願い致します。

(総務担当理事 大橋 謙策)

事務局連絡

- ▲新事務所に移転して初めてのお正月を迎えました。今年も会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。
- ▲大震災のニュースが続々と流れています。被災地の皆様にはお見舞いを申し上げますと共に、事務局として協力できることがあればお申しつけ下さい。
- ▲新しく会員になられ方などバックナンバーが必要な方は事務局までご連絡下さい。
- ▲住所変更等のご連絡は必ずお願いします。特に大学院を卒業された会員の方引越が終わりましたら、住所変更も忘れずに…ハガキに会員番号とお名前、変更事項をお願いします。

(春山)

*	発行人 仲村 優一 編集人 大橋 謙策 発行日 1995年1月25日 発行 日本社会福祉学会 〒160 東京都新宿区四谷4-6-1四谷サンハイツ1208号室 TEL.03-3356-7824 FAX.03-3358-0191	*
	<u>学会ニュース7号</u>	
*		*